

第11回日本疲労学会総会・学術集会プログラム

第2日：5月16日（土）

受付開始 8:30～

ミニシンポジウムⅠ

8:50～9:30（多目的ホール）

座長 伴 信太郎（名古屋大学大学院医学系研究科総合医学専攻総合診療医学分野）

MS1-1 慢性疲労症候群（筋痛性脳脊髄炎）患者における循環血液量調節異常について
三羽 邦久（ミワ内科クリニック）

MS1-2 CFS患者に対する漢方治療の有効性に関する検討（第3報）
胡 曉晨（名古屋大学大学院医学系研究科総合診療医学）

MS1-3 補剤系漢方薬や抗うつ剤が奏効せず抗炎症系漢方薬が奏効した慢性疲労症候群の2症例
沼田 健裕（東北大学病院総合地域医療教育支援部漢方内科）

MS1-4 周期的な倦怠感に先行する機能性ディスぺプシア（FD）症状をみとめた1症例
松原 英俊（医仁会武田総合病院慢性疲労科）

ミニシンポジウムⅡ

9:30～10:20（多目的ホール）

座長 水野 敬（理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター）

MS2-1 血液透析患者における慢性疲労と貧血，エリスロポエチン抵抗性の関連についての検討
山崎 彰代（大阪市立大学医学部附属病院内分泌・骨・リウマチ内科）

MS2-2 神経・内分泌・免疫機能の破綻を伴う新たな慢性疲労モデルの確立
神崎 曉慶（兵庫医科大学内科学糖尿病・内分泌・代謝科 内分泌・代謝部門）

MS2-3 疲労負荷動物モデルを利用した疲労の潜在的バイオマーカーの探索研究
久米 慧嗣（理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター）

MS2-4 抗血小板剤による血中プラスミノゲンアクチベーターインヒビター-1濃度抑制効果について
阪田 敏幸（アイ・エル・ジャパン株式会社 血液凝固学術部）

MS2-5 プラズマローゲンによる脳由来神経栄養因子の発現と学習記憶
Md. Shamim Hossain（九州大学大学院医学研究院統合生理学分野）

シンポジウムⅢ

10:20～11:50（多目的ホール）

「慢性疲労症候群／線維筋痛症」

座長 松本美富士（桑名市総合医療センターリウマチ膠原病内科）

倉恒 弘彦（関西福祉科学大学健康福祉学部）

S3-1 米国より提唱された SEID の概念について

中富 康仁（ナカトミファティীগケアクリニック）

S3-2 子宮頸がん予防ワクチン接種者における慢性疲労症候群/線維筋痛症

松本美富士（桑名市総合医療センターリウマチ膠原病内科）

S3-3 線維筋痛症の最近の治療の進歩

岡 寛（東京医大八王子医療センターリウマチ性疾患治療センター）

S3-4 うつ病における慢性疲労：心拍変動検査で見る自律神経の疲労

榛葉 俊一（静岡済生会総合病院精神科）

ランチョンセミナー（メロディアン株式会社）

12:00～13:00（多目的ホール）

座長 中根 卓也（メロディアン株式会社企画開発部研究開発一課）

**疲労のメカニズムである生体酸化-炎症-修復エネルギー低下（OIL）とその検出と克服
～水素水の抗疲労効果を含めて～**

演者 渡辺 恭良（理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター、大阪市立大学）

ポスターセッション：ディスカッション

13:00～14:00（第1研修室）

P-1 うつ病における慢性疲労：心拍変動検査で見る自律神経の疲労

榛葉 俊一（静岡済生会総合病院精神科）

P-2 米国より提唱された SEID の概念について

中富 康仁（ナカトミファティীগケアクリニック）

P-3 子宮頸がん予防ワクチン接種者における慢性疲労症候群/線維筋痛症

松本美富士（桑名市総合医療センターリウマチ膠原病内科）

P-4 唾液中のホルモンを用いた睡眠様態の評価

大平 雅子（滋賀大学教育学部）

P-5 馬介在療法がうつ病患者の疲労に及ぼす影響-予備的検討

福田 早苗（関西福祉科学大学）

P-6 ストレスによって変動する脂質酸化物と客観的評価の可能性

七里 元督（産業技術総合研究所 健康工学研究部門）

P-7 エーテル型グリセロリン脂質・プラズマローゲンの抗神経炎症作用

片渕 俊彦（九州大学大学院医学研究院・統合生理学分野）

P-8 疲労による脳の構造的変化

水野 敬（理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター健康・病態科学研究チーム、大阪市立

大学大学院医学研究科疲労医学講座、大阪市立大学健康科学イノベーションセンター)

- P-9 小児慢性疲労症候群の易疲労性・疲労回復性と治療効果
水野 敬 (理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター健康・病態科学研究チーム、大阪市立大学大学院医学研究科疲労医学講座、大阪市立大学健康科学イノベーションセンター)
- P-10 子どもにおける木質内装空間の抗疲労効果
水野 敬 (大阪市立大学大学院医学研究科疲労医学講座、大阪市立大学健康科学イノベーションセンター、理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター健康・病態科学研究チーム)
- P-11 日常生活疲労に対する高濃度水素水の抗疲労効果
水野 敬 (大阪市立大学健康科学イノベーションセンター、大阪市立大学大学院医学研究科疲労医学講座、理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター健康・病態科学研究チーム)
- P-12 恋人と過ごす時間の抗疲労効果に関する予備的検討
佐々木章宏 (理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター 健康・病態科学研究チーム)
- P-13 主観的気分測定および自律神経測定による環境音源の抗疲労効果の評価
片岡 洋祐 (大阪市立大学健康科学イノベーションセンター、大阪市立大学大学院医学研究科システム神経科学、理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター)
- P-14 脳磁図による疲労の神経メカニズムの研究
石井 聡 (大阪市立大学大学院医学研究科システム神経科学、理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター)
- P-15 子どもに対する客観的健康評価ー疲労、睡眠と自律神経機能との関連についてー
大川 尚子 (関西福祉科学大学)
- P-16 香りの抗疲労作用に関連する嗅覚受容体の特定とその活性化香料の探索
齋藤菜穂子 (花王株式会社 感性科学研究所)
- P-17 新規開発香料の抗疲労効果に関する検討
山野 恵美 (大阪市立大学大学院医学研究科システム神経科学)
- P-18 癒しの照明色のベッドサイド機器への応用およびその有用性評価
白市 幸茂 (シャープ株式会社)
- P-19 木の内装と間接照明を組み合わせた寝室環境による睡眠の質改善と疲労軽減効果
杉野 友啓 (大阪市立大学大学院医学研究科疲労医学講座、株式会社総合医科学研究所)
- P-20 当院における慢性疲労症候群患者の機能性身体症候群合併の現状について
山口 浩二 (大阪市立大学大学院医学研究科 システム神経科学)
- P-21 当院における慢性疲労症候群患者の小心症候群の現状について
山口 浩二 (大阪市立大学大学院医学研究科 システム神経科学)
- P-22 当院における慢性疲労症候群患者の一般臨床検査成績について
山口 浩二 (大阪市立大学大学院医学研究科 システム神経科学 (生理学第一))

- P-23 補剤系漢方薬や抗うつ剤が奏効せず抗炎症系漢方薬が奏効した慢性疲労症候群の2症例
沼田 健裕 (東北大学病院 総合地域医療教育支援部・漢方内科)
- P-24 慢性疲労症候群(筋痛性脳脊髄炎)患者における循環血液量調節異常について
三羽 邦久 (ミワ内科クリニック)
- P-25 MAS5 (Microarray Analysis Suite) データにおけるCFS患者群と健常人
立花麻貴子 (横浜国立大学 大学院工学府)
- P-26 慢性疲労症候群のための認知行動療法プログラムの開発—QOL向上要因の検討—
藤江里衣子 (名古屋大学医学部附属病院総合診療科)
- P-27 タイヤ(バイク用)設計コンセプトが与える走行中の自律神経機能変化
大谷 匡史 (住友ゴム工業株式会社)
- P-28 血液透析患者における慢性疲労と貧血, エリスロポエチン抵抗性の関連についての検討
山崎 彰代 (大阪市立大学医学部附属病院 内分泌・骨・リウマチ内科)
- P-29 抗血小板剤による血中プラスミノゲンアクチベーターインヒビター-1濃度抑制効果について
阪田 敏幸 (アイ・エル・ジャパン株式会社)
- P-30 プラズマローゲンによる脳由来神経栄養因子の発現と学習記憶
モハメド シャミン ホセイン (九州大学大学院医学研究院・統合生理学分野)
- P-31 水浸疲労負荷動物モデルを用いた肝臓での疲労代謝回路および代謝性組織炎症の実証研究
久米 慧嗣 ((独)理化学研究所 ライフサイエンス技術基盤研究センター)
- P-32 持続的ストレスによりラット肝細胞に起こるオートファジーの亢進と細胞変性
小川登紀子 (大阪市立大学大学院医学研究科システム神経科学)
- P-33 IL-1 β の分子制御を利用した炎症可視化モデルマウスの開発
赤井 良子 (群馬大学)
- P-34 繰返し寒冷ストレスモデルと複合ストレスモデルに共通する病的疼痛発症メカニズムの解析
安井正佐也 (名古屋大学大学院医学系研究科機能形態学講座機能組織学分野)
- P-35 エネルギー代謝の低下に着目した疲労動物モデルにおける脳内神経炎症の惹起
大和 正典 (独立行政法人理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター細胞機能評価研究チーム)
- P-36 相対的酸化ストレス度を用いた東日本大震災被災者の疲労度評価
本木由香里 (山口大学大学院医学系研究科保健学系学域生体情報検査学)
- P-37 心停止後症候群の予後推測因子としての相対的酸化ストレス度
原 和冴 (山口大学大学院医学系研究科生体情報検査学)

日本疲労学会総会

14:00～14:45（多目的ホール）

研究奨励賞表彰式

14:45～15:00（多目的ホール）

シンポジウムⅣ

15:00～16:30（多目的ホール）

「ストレス・疲労の客観的評価」

座長 近藤 一博（東京慈恵会医科大学ウイルス学講座）

福田 早苗（関西福祉科学大学健康福祉学部）

S4-1 客観的な病的疲労と生理的疲労の判別法の探索

近藤 一博（東京慈恵会医科大学ウイルス学講座）

S4-2 唾液中のホルモンを用いた睡眠様態の評価

大平 雅子（滋賀大学教育学部）

S4-3 客観的疲労評価とストレス評価-活用の可能性

福田 早苗（関西福祉科学大学健康福祉学部）

S4-4 ストレスによって変動する脂質酸化物と客観的評価の可能性

七里 元督（産業技術総合研究所健康工学研究部門ストレスシグナル研究グループ）

慢性疲労症候群の診断・治療に関する臨床カンファレンス

15:00～17:00（第2研修室）

閉会の挨拶

17:00（多目的ホール）